

製品名: HDAC6 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87545**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:126 kDa; Observed MW:160 kDa

抗原情報

遺伝子名	HDAC6
別名	Hd6; Sfc6; Hdac5; mHDA2
遺伝子ID	15185
SwissProt ID	Q9Z2V5
免疫原	マウス HDAC6 の合成ペプチド

背景

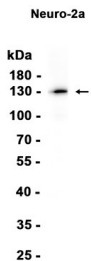
細胞骨格タンパク質結合活性、タンパク質脱アセチル化活性、およびユビキチン結合活性を活性化する。ペプチジルセリンリン酸化

の正の制御、タンパク質脱アセチル化、タンパク質不安定化など、複数のプロセスに関与する。アグレスームの組み立て、細胞タンパク質代謝プロセス、ニューロン投射形態形成など、複数のプロセスの上流または内部で作用する。樹状突起、微小管細胞骨格、周核細胞など、複数の細胞構成要素に局在する。タンパク質含有複合体の一部である。中枢神経系、初期胚、将来の中脳、腸腺、肺など、複数の組織で発現する。この遺伝子のヒト相同遺伝子は、扁平脊椎症、特徴的短指症、水頭症、および小眼球症を伴う軟骨異形成症に関与することが示唆されている。ヒト HDAC6 (ヒストン脱アセチル化酵素 6) と相同性がある。[Alliance of Genome Resources 提供、2022 年 4 月]

研究分野

-

画像データ



HDAC6 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して Neuro-2a 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。